

# 作品番号047-1



八ヶ岳山麓のオール電化の大型住宅。会社の経営者の施主様は経済性には厳しく、豪華な家造りの中でもランニングコストや耐久性には入念なチェックが有りました。

結果的に全館床暖房(約 330 m<sup>2</sup> : 100 坪)の大規模な設備も「低圧蓄熱調整契約」という電力メニューを利用して、全て電力で賄う事が経済的であると理解されました。

2001 年の新築ですから竣工後既に 9 年経過していますが、当初の計画通り全く順調に機能しています。その間に住宅雑誌等で紹介されその取材にも立ち会いましたが、何時も「予想した以上の建物である」と喜んで頂いています。

## 大小の二部屋の茶室を頻繁に使用。

この建物の特徴は茶道の心得の有る来客が多いのと、施主様もお茶を嗜まれて非常に頻繁に茶室を使用します。

大勢の客人が集まる場合は大小の茶室を同時に使用しますが、その様な場合でもゆとりを感じられる様な建築を心がけました。

幸いにして集まった客人も非常にくつろげる建物だと喜んで下さるとの事です。

## 床暖房システムの耐久性。

八ヶ岳山麓は標高が 1000m で冬期は-25℃位まで気温が下がります。

その為に床暖房はこの建物の必需品です。

その耐久性が短いと結果的に高い買い物になると当初は心配していたのですが、60 年間の保証であるとの事から採用に踏み切りました。

結果的に 9 年が経過した現在も何のトラブルも無い事で、このシステムの採用が間違っていなかったと確信しております。



# 作品番号047-2



01

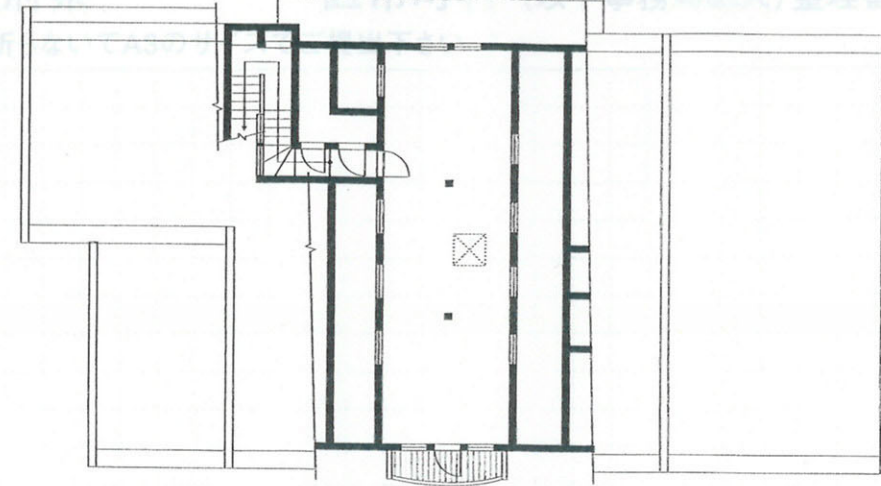


03

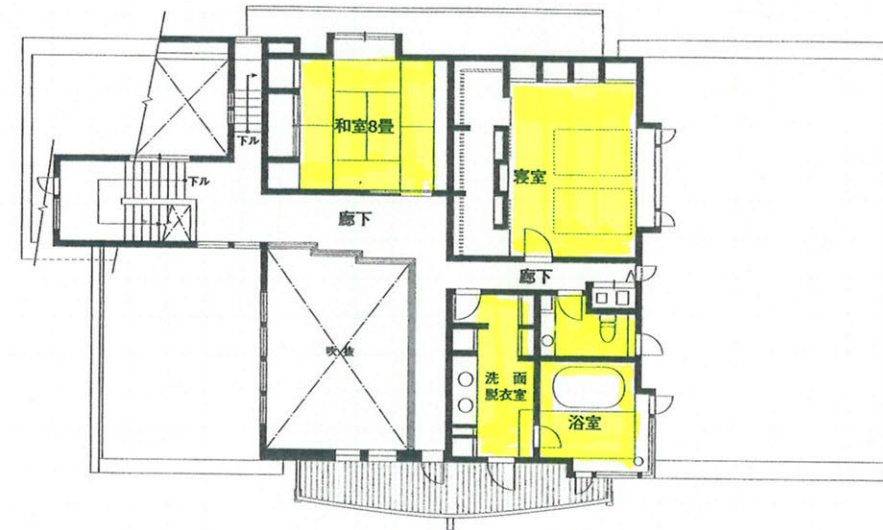


04

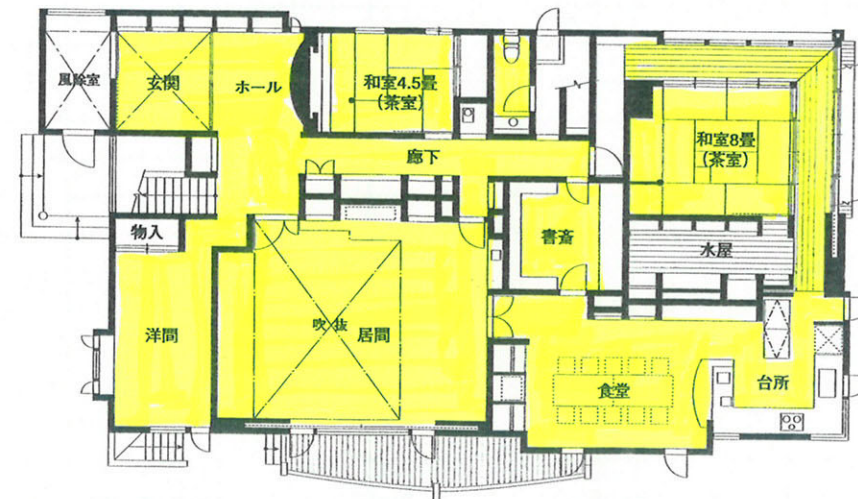
都道府県 区市町村 (以下事務用記入) 整理番号



ロフト平面図

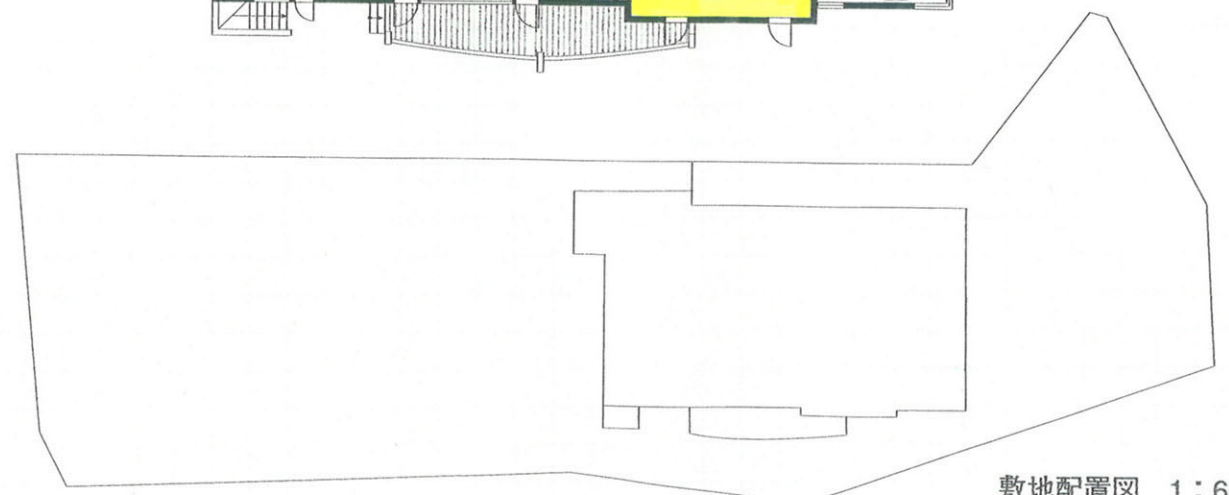


2階平面図



1階平面図

1 : 300



敷地配置図 1 : 600